



イズミヤ株式会社

〒557-0015 大阪市西成区花園南1丁目4番4号
TEL.06-6657-3455 FAX.06-6657-3398

URL.<http://www.izumiya.co.jp/>



“ええもん安い”の商道を追求。 社会から信頼され愛される企業を 目指すイズミヤです。



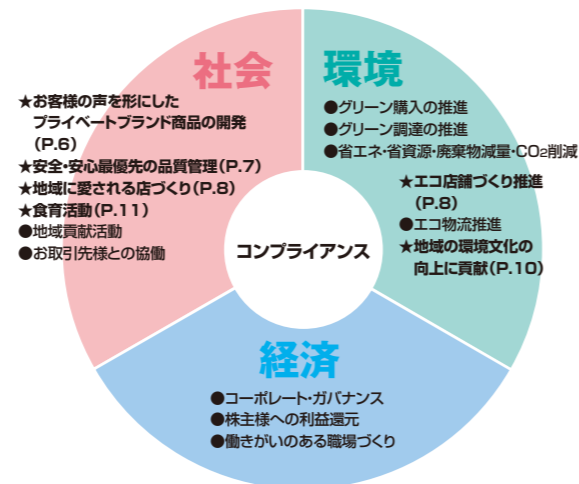
社会・環境活動レポートの発行にあたって

編集方針

イズミヤ株式会社の事業活動における「経済」「社会」「環境」の3つの側面に關して、『①ステークホルダーの皆様への関心』と『②事業活動としての重要性』の観点から報告すべき内容を選択し、本報告書にまとめました。特に重要な情報は特集パートに取りあげ、写真やイラストを多用するなど、読者の皆様に分かりやすく伝える工夫を施しました。各論パートについても、重点的課題と新たな取り組みを中心に構成し、リード文で基本的な考え方を紹介しています。本報告書の作成にあたっては、環境省発行の環境報告ガイドライン(2007年版)及びGRIの「サステナビリティ・レポート・ガイドライン第3版(和訳暫定版)」を参考にしました。

イズミヤの重点的な活動

※特集パートでは、★印の項目を分かりやすく紹介しています。



報告書の発行

イズミヤの活動状況や企業姿勢をより多くの方々にご理解いただくこと、また各ステークホルダーに適切な情報を提供することを目的としています。1995年より報告書の発行を始め、2001年より毎年1回の頻度で継続して作成しており、今回の報告書で11回目の発行となりました。

報告対象組織

イズミヤ株式会社 ※一部、関係会社の取り組みも紹介しています。

報告対象期間

基本的に2007年度(2007年3月1日～2008年2月29日:当社事業年度)の取り組みを報告していますが、一部、この期間外の活動についても報告しています。

発行日

今回発行2008年6月(次回発行予定2009年6月)

お問合せ先

イズミヤ株式会社 エコロジー推進部
〒557-0015 大阪市西成区花園南1-4-4
TEL06-6657-3455 FAX06-6657-3398
URL <http://www.izumiya.co.jp>

アンケートのお願い

皆様のご意見をうけたまわるために、アンケート用紙を挟み込んでおります。本書をご覧いただいたご感想、ご意見、ご質問を、ぜひお寄せください。次年度以降の参考とさせていただきます。

<免責事項について>

本報告書にはイズミヤ株式会社の過去と現在の事実だけでなく、発行日時点における予想・予測・計画も含まれております。これらは記述した時点での入手できた情報に基づく仮定や判断が含まれており、諸条件の変化によって、本冊子に記載した予測・予想・計画とは異なる可能性があります。読者の皆さまには、このような点をご理解いただきますようお願い致します。

Contents

社会・環境活動レポートの発行にあたって 02
経営者からのご挨拶 04

特集 Special Issue 06

安全・安心な商品づくり

ええもん、安いイズミヤ
自信のgood-iブランドです。

「安全・安心」にこだわります。

地域に愛される店づくり

ええみせ、身近にたくさん
生活者にも、地球にも優しい店舗をめざして。

暮らしを豊かにする社会活動

ええこと、お客様と一緒に
環境にいい運動、進めます。

食の楽しさ、大切さ広めます。

コーポレート・ガバナンス 12

社会性報告

お客様との約束 14
地域社会との約束 17
従業員との約束 18
お取引先様との約束 20
株主様との約束 21

環境活動報告

環境マネジメント 22
環境に配慮した商品の提供 24
地球温暖化防止対策 26
廃棄物削減 28
お客様と行う環境活動 30
地域での環境保全活動 32
環境コミュニケーション 34
環境目標の達成状況 36
環境負荷の状況 37

事業の概要 38
社会・環境活動の歩み 39

品質、店舗展開も、すべてお客様の立場で発想する、イズミヤはその姿勢を大切にしています。



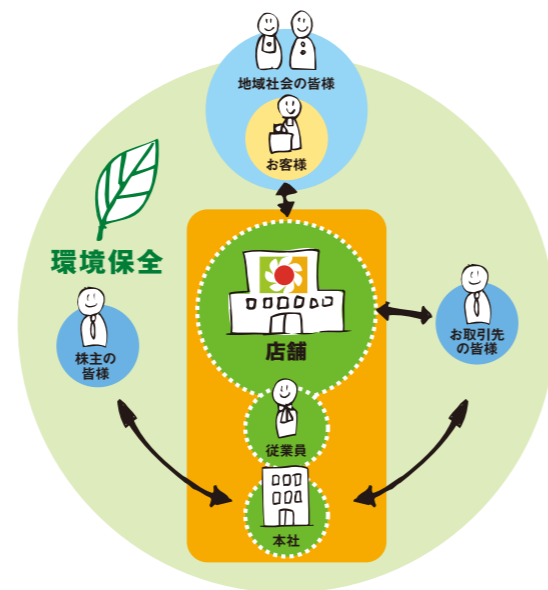
“ええもん”を追求するイズミヤとして、安全・安心を守る取り組みを強化します。

イズミヤは「“ええもん安い”の商道を追求し、社会に貢献すること」を経営理念に掲げています。創業以来変わることなくご満足いただける商品を届ける努力を重ねてきましたが、このええもん安いは、今改めて大きな意味を持つものとなっています。

虚偽表示や中国産品の問題などが相次ぐなかで、社会的にも関心が高まる品質課題に応えることは、私たち小売業を営む企業に課せられた責務です。お客様の不安を払拭する安全な商品づくりのために、イズミヤでは安全・安心の基準を高める取り組みや組織変更を行っています。

まず国産品の調達能力を上げることに力を注いでいきたいと考えています。一方、生産履歴を公開するトレーサビリティもさらに強化していきます。どの地域で、どう育てられたか。製造加工行程の全てを明確に確認できることはお客様の安心につながります。

また2008年3月に「リスク管理部」を立ち上げました。この部署は起こった事象を一元化して捉え、予知・予防につなげることを目指しています。社内および社外で起こっていること、すべての事件や事故の内容をしっかりと見つけ、それが何を意味するのか、どう行動しなければならぬかを見極めることが大変重要です。消費社会で起こっている様々な事柄を読み解いて、先回りする、これはお客様にご支持いただけるイズミヤとなることに通じると考えています。



厳しい社会変化をマイルドに緩和する一価格施策はとて重要で。

また所得が増えないのに物価が上がるという厳しい社会状況となっています。イズミヤでは、お客様にご負担がかからないように最大限の努力をすべく様々な施策を採っています。“安さや値頃感”を持続するために、プライベートブランドの強化が大きなウエイトを占めることになるといいます。「商品開発部」の設置はそのためのもので、お客様に喜ばれる高品質でお手頃な価格の商品を提供するとともに、売上げに占めるPB商品の比率を2%上げ、総販売高25%アップを目指しています。特に無駄を省き安さを追求したgood-iチャレンジの開発に力を入れる予定です。また「値上げSTOP宣言」では300品目の価格を据え置き、生活への影響をマイルドに緩和。お客様視点で価格を考えていくことがイズミヤのスタンスです。

生活インフラとなるお客様本意の店舗展開で地域社会に貢献します。

イズミヤは、地域特性に合わせた出店で、お客様の暮らしに欠かせない店づくりを進めています。例えば、小家族が多いエリアでは無駄なくお買い求めいただける個食化に対応した品揃えとしています。このような都心型スーパーマーケットの出店も増やす方向で考えています。

2007年度は新業態として、“毎日がお買い得”をキャッチフレーズにした小規模スーパーマーケット「まるごと市場」の展開も始めています。お客様のお近くに店を出店したいという思いがあっても、用地を確保するのは容易ではありませんが、150坪ぐらいの小さなプロットで展開できれば、便利に買物ができるとお客様から厚い支持を得られると確信しています。

またエブリデーロープライスをコンセプトに、余分なコストを取り除き、より安く提供する「スーパーセンター」は時代のニーズに合致し、引き続きイズミヤの中核店舗となるはずで。

お客様と一緒に、イズミヤ独自の参加型の環境保全活動を推進します。

環境保全への取り組みとしては、とりわけ地球温暖化対策を重視していきたいと考えています。省エネ設備や壁面緑化等を導入することで、温室効果ガスの発生量を抑制する方向で店づくりを進めています。またお客様とのパートナーシップを大切に地域ぐるみで環境活動を行っています。マイバッグの代わりに使える「風呂敷包み方講座」の開催や

エコ川柳の募集など、対話を通じてCO₂削減取り組みに興味を持ってもらうことはとても大事なことでと捉えています。

この他にもイズミヤは様々な社会活動を行っています。大阪府の有休農地を借り受けた「ゴールドファーム」はその一例ですが、地元の農家のご指導のもとイズミヤのOB会「泉友会」のメンバー、また地域の方にもご参加いただき農作業を行っています。野菜づくりにはイズミヤ店舗で発生した食品生ゴミを堆肥化して使用。将来的には、有機野菜を地元店舗で販売したり、農作業体験を通した食育活動を実施するなど多様な展開が考えられます。

独自性をもたせた社会貢献活動で、お客様の健康で心豊かな生活の現実と、社会の持続可能な発展につながる取り組みを、イズミヤはさらに充実させていく所存です。皆様にご理解いただき、一層のご支持・ご指導をいただけますよう宜しくお願いいたします。

2008年5月

イズミヤ株式会社 代表取締役社長

林 紀男

当社は「経営理念」を経営の拠り所とするとともに、全従業員が「経営指針」「行動規範」を遵守し、信頼される企業であるよう、事業活動を通じてさまざまな貢献をしていきたいと考えています。

経営理念

地域のお客様が、健康で楽しく、心豊かな生活をおくれるように、安全で安心な商品とサービスの提供を通して“ええもん安い”の商道を追求し、社会に貢献します。

経営指針

- イズミヤは、法令および社会正義に則り、正々堂々と事業の発展を追求します。
- イズミヤは、日常の事業活動を通し、環境保全に貢献します。
- イズミヤは、魅力ある商品の品質と価格で、お客様に十分な満足を提供します。
- イズミヤは、お取引先とのパートナーシップを築き、協同して魅力ある商品開発に努めます。
- イズミヤは、地域に根ざした社会貢献活動を行い、信頼される企業市民を目指します。
- イズミヤは、適正な利潤を得て、社会への貢献を維持継続し、株主の信頼に応えます。
- イズミヤは、働きがいがあり、自己革新ができる職場づくりを目指します。

イズミヤの店舗形態



GMS

ゼネラル・マーチャндаイズ・ストア

GMSは、衣料品・食料品・住居関連品など、暮らしに必要な商品とサービスを提供する店舗です。地域の一員として、店舗ごとに特色のある品揃えを行う一方、周辺地区が便利で住み良く楽しい地域となるような店づくりを心がけています。



スーパーマーケット

「地域の生活便利館」をコンセプトに、食料品を中心とした生活必需品を揃えたスーパーマーケットを「デイリーカーナート」と名づけています。クッキングサポートや宅配サービスなど様々なサービスを提供することで、便利で親しみのある店づくりに取り組んでいます。



スーパーセンター

スーパーセンターは、ワンフロアで衣・食・住のすべてが揃う大型店です。「普段の生活に必要な商品を豊富に、より安く提供し続ける店(エブリデーロープライス)」をコンセプトに、品揃えの幅と深さを追求。また、バリアフリーと環境対策を重視した店舗となっています。

ええもん、安いイズミヤ

グッドアイ



安全・安心な商品づくり

自信のgood-iブランドです。

お客様に健康で心豊かな生活をおくっていただきたい、「good-i」はそんな思いを込めてイズミヤが開発した商品です。まず、安全で安心できる高品質な商品であること。環境にも優しいこと。しかも価格が手頃なこと。イズミヤが目指す「ええもん安い商道」をまさに具現化したブランドです。原材料の高騰に伴う価格の値上げが相次いでいますが、独自の工夫を重ねるこの姿勢を変えず、お客様の日々の生活に役立つ商品を提案していきます。

「安全・安心」にこだわります。

昨今食への不安や不信感をあおる事件が多々発生しています。「お客様が安心できる商品を提供し続ける」、そこに最大の努力を払うことは企業として当然のことと認識しています。イズミヤでは品質管理部を軸に、食の安全管理として、生産情報の公開をはじめ、期限管理、表示管理に至るまで徹底した品質管理を実施。また、衣料、住居関連用品においても、開発前から販売まですべての過程において品質チェックできる体制を構築し品質の担保を行っています。

お客様の声を生かしたプライベートブランド

「good-i」に共通しているのは、お客様視点での商品開発を行なっていることです。「こんな商品があれば」「ここを改善して欲しい」といったお客様のご意見を企画開発に反映。その中から、原料や製造行程・環境負荷などに関する、イズミヤの厳しい品質管理基準をクリアした商品だけが「good-i」として商品化されます。

「good-i」は「ええもん」を、またイズミヤの「i」は私・愛・アイデア・eyeを表し、アイテム数は2,145品目*となっています。

*2007年度取り扱い実績



商品提案力を高める「商品開発部」が発足

よりご満足いただける商品を提供するために、イズミヤでは新たに商品開発部を設置しました。商品企画はもとより、製造工程での品質管理、進捗管理、物流管理等を統括。バイヤーだけでなく品質管理部やご意見うけたまわり係とも連携し、「good-i」ブランドの強化と商品開発力の向上を目指します。

品質、価格ともに
ご納得いただける
魅力的な商品を開発。
ご期待ください!

商品開発部 曾根健介・宝田剛・伊香英雄

この価値・品質だったら安いとお客様に思っていただける商品開発に、まじめに取り組んでいるのがイズミヤです。これまでは、各部署が個別で商品開発を行ってききましたが、今後、商品開発部はそれを統括しサポートする役割を担います。食品・衣料・住居関連という縦割りではなく総合的に取り組むことで、新しい魅力的な商品をご提供していきたいと思っています。



私・お客様視点(アイ)

good-i
丹波和牛



「生産情報公表JAS規格」*認定の農場で、専用の自家製配合飼料を使用育てられたのが丹波和牛。お客様のご要望に応える安全・安心な和牛です。

*生産情報公表JAS規格：「食卓から農場まで」顔の見える仕組みを整備する一環として、食品の生産情報を、消費者に正確に伝えていることを第三者機関が認証するもので、牛肉については2003年12月に施行されました。

アイデア豊かな商品

good-i
IHクッキングヒーター対応鍋シリーズ



お客様の声にお応えして小さいサイズのIH両手鍋も新登場。手元から熱源を遠ざけるため取手位置を高くしました。シリーズで重ねてコンパクトに収納できるのも魅力です。

商品企画

イズミヤの自主基準を制定

自社開発商品(good-i等)や食品店内加工商品は、法令より厳しいイズミヤ基準を制定し、品質を確保するためのチェックを行っています。また、お客様からのご意見等を蓄積・管理しイズミヤ基準の追加、改定に役立てています。

正確でわかりやすい表示

イズミヤが製造に携わる商品の表示に関しては、品質管理部での確認はもとより、行政への問合せ、検査機関等の第三者確認に加え、消費生活アドバイザー有資格者の「お客様の立場に立った意見」を活かし、わかりやすい表示を心がけています。

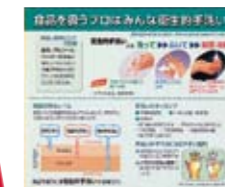
トレーサビリティ(生産履歴情報の公開)

食の安全への関心が高まる中、「トレーサビリティ」への取り組みを強化。牛肉だけでなく、「good-i」については鶏肉・豚肉も生産履歴を公開するなど、一歩先んじた取り組みで安心をお届けしています。



北海道冷凍かぼちゃの加工現場確認

厳格な工場調査と徹底した衛生管理



製造委託している自社開発商品の生産では、原材料や備品、製造工程、パッケージングまですべてにおいて確認を行う工場調査を実施。店内で加工する食品も、独自の加工衛生基準書に基づき衛生管理を徹底させています。

*教育ツールとして「食品衛生ハンドブック」を加工業務従事者全員に配布。

売場での抜き取り検査

販売中の商品においても、店頭検品及び賞味・消費期限チェック等を定期的に行い安全確保に努めています。自社開発商品は、発売後も定期的な抜き取り検査を実施し、機能、安全、衛生面等あらゆる角度からの商品検査を行っています。>>> 15ページもご参照ください

生産管理

定期検査検証

暮らしの中に、もっと「i」を!

アイ愛のある商品

good-i
オーストラリア綿シリーズ



オーストラリア綿は農薬の使用量・回数を抑えた低農薬コットンです。毛足が長く張力に優れ、肌触りも心地よい、環境にも人にも優しい商品です。

>>> 14ページもご参照ください

新しい視点(eye)

good-i
キッチントイレ安心お掃除シート



自然環境や手肌への優しさから「重曹」に着目し開発。界面活性剤を一切使用しないお掃除シートは、冷蔵庫内等でも安心して使えると好評です。

ええみせ、身近にたくさん



地域に愛される店づくり

生活者にも、地球にも優しい店舗をめざして。

イズミヤはお客様の暮らしを支える、地域になくてはならない店づくりを目指しています。そのためには、地域の特性を見極めたうえで品揃えやサービスを工夫していくことが重要になります。イズミヤに来店いただいているお客様の8割強がクラブカード[※]にご入会いただいております。会員様の購買履歴等から嗜好やニーズにあった商品のご提案ができます。環境や人に優しい店であることはもちろん、お客様が「いま必要とされていること」に応えられる「ええみせ」とはそんな店舗であると捉えています。[※]クラブカード：会員制のポイントカードで、お買上金額に応じてさまざまな特典を用意しています。

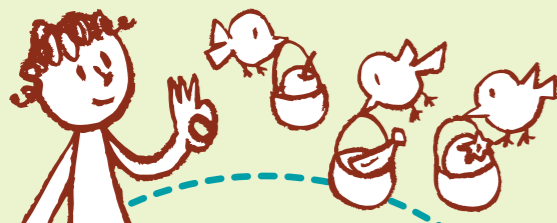
人や環境に配慮した店づくり

地域の生活インフラとなる便利な店づくり



エコ店舗をさらに進展

地球環境により優しい企業でありたいという思いは店舗づくりにも反映されています。そのモデル店舗として、最新の環境技術を取り入れているのが「スーパーセンター神戸ポートアイランド店」です。CO₂を発生させないクリーンな太陽光発電や風力発電を導入し、店内照明等に利用。屋上や壁面の緑化も図っています。また改装店舗についても省エネ設備を導入し、冷凍ケースの冷媒を脱フロン化するなど、環境保全の取り組みを強化しています。



少人数家族にうれしい売場づくり

大型マンションの建設が進み1人～2人住みの世帯が66%を占める地域性を考慮して売場づくりを行っているのが、2007年4月に誕生した「デイリーカーナート細工谷店」です。単身者や少人数のご家族にも無駄なくお買い求めいただけるように、少量パックの惣菜や、1個単位で購入できる生鮮品の盛り売りを強化。「ちょこっとずつを色々食べたい」というニーズに応えることは、健康的な生活を支えることにもつながります。今後は他店舗においても、個食化への対応に力を注いでいきます。

クッキングサポートで健康を応援

地域の生活便利館をコンセプトとするデイリーカーナート店舗を中心に、クッキングサポートコーナーを設置。日々の献立や食に関する情報を提供しています。専属の栄養士が実演・試食を交えながら、旬の食材を使用したメニューや健康や美容にいいメニューなどを提案。ふれあいを大切に、近隣のお客様の健康をサポートするこのサービスは大変好評です。

[※]現在19店舗で、クッキングサポートを実施しています。



地域特性に合わせた宅配サービスも好評!

ご高齢の方が多い地域では特に、宅配サービスを拡充しています。65歳以上のお客様を対象としたシニア向け宅配サービスは、3,150円以上の商品を無料で宅配。食品のみの即日宅配サービス(有料)を実施している店舗もあります。[※]この宅配サービスはクラブカード会員様限定のサービスです。

シニア向け宅配サービス実施店

寝屋川店・東寝屋川店・交野店

即日宅配サービス実施店

デイリーカーナート店舗を中心に30店舗で実施



太陽光発電装置

風力発電装置

屋上緑化

車椅子利用やママへの配慮も満載♡

年配の方や障害をお持ちの方もご利用しやすいように、心配りを行き届かせています。ワンフロアの大型店スーパーセンターでは通路や階段などにおいてハートビル法[※]に定められた以上の配慮を施しています。この他に「赤ちゃんルーム」や「ベビーカート」、「ゆったり試着室」等を設け、お子様連れのお客様にも快適にご利用いただけるよう配慮しています。

[※]高齢者、身体障害者が円滑に利用できる特定建築物の建築促進に関する法律



車椅子の高さに合わせたカウンター

赤ちゃんルーム

災害時の活動拠点として社会に貢献

2008年4月にオープンした「スーパーセンター紀伊川辺店」では、災害時を想定した設備を導入しています。また、和歌山市との協定により生活物資の供給に協力できる体制を整えています。

[※]他店舗でも各行政と災害協定を締結しています。

紀伊川辺店での導入設備

- 井水利用システム(飲料水の確保)
- 自家発電装置(電源の確保)
- 災害備蓄倉庫

>>> 17ページもご参照ください



和歌山市との防災協定調印式



ネットスーパー「楽々マーケット」

インターネットで注文を受け、近くのイズミヤ店舗から食料品・生活雑貨品を配送するのがネットスーパーです。イズミヤは関西の草分け的存在で、2000年度にスタート。2007年11月にはサイト上の店舗をリニューアルし、品揃えも5,000アイテム以上に拡充。携帯電話から注文できるモバイルサイトもオープンしました。今後、対象地域も拡大する予定です。

ええこと、お客様と一緒に



暮らしを豊かにする社会活動

環境にいい運動、進めます。

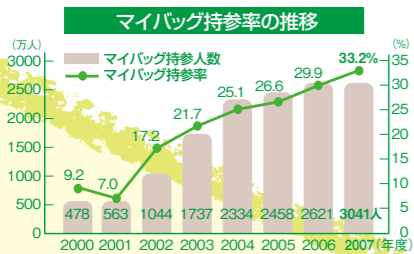
温暖化問題をはじめ様々な環境問題が深刻化する中、環境負荷を低減し持続可能な地球の発展に貢献することは、企業の重大な使命とイズミヤは考えています。環境保全の大切さに気づいていただくために、年2回の「エコ月間」では、お客様と共に取り組む参加型のキャンペーンを企画。身近にできることからご協力を促し、また従業員の意識向上を図るなど、環境保全活動を強化すると同時に、CO₂削減をめざす政府の取り組みに様々な形で参画しています。

「レジ袋削減」にむけた取り組み

持参率も過去最高の33.5%に！

マイバッグ持参キャンペーン

資源の節約とゴミの削減にむけ、お客様と一緒に取り組んでいるのがマイバッグ持参運動です。エコ月間中は、マイバッグの割引販売や、エコツアーなどが抽選で当たるキャンペーンを実施。2007年度はエコツアーの内容を充実させたこともあり、10月度は15,561通と過去最高の応募数になりました。またマイバッグの持参率も目標値を超える33.5%に向上、取り組み当初は9.2%でしたが継続的に取り組むことで大きな成果を上げています。>>> 31~33ページもご参照ください



※持参率は年度末のデータ、持参人数は年度中の総計

風呂敷でマイバッグを作ろう！

風呂敷の包み方講座

マイバッグの代わりに使える風呂敷の包み方ミニ講座を、6月と10月に15回開催し、のべ510名のお客様にご参加いただきました。

講座では日常使い・贈答用など5~6種の包み方を紹介し、店内でも風呂敷を販売。「実際に作ってみると簡単で楽しい」と好評で、繰り返し使えて環境にも優しい風呂敷を見直す機会となりました。



食の楽しさ、大切さ広めます。

食生活の乱れや食文化の喪失、生活習慣病の増加など、食に関わる様々な問題が指摘されています。このような社会状況をふまえ、イズミヤは健やかなココロとカラダを育む食育啓発活動に積極的に取り組んでいます。「健康おおさか21健康推進企業団*」をはじめとする企業と連携し、食を通じた社会貢献活動を実施。楽しくご参加いただける多くの機会を設けることで、食べることの大切さ、作ることの楽しさを伝えています。*19社の食品メーカーで構成

愛情弁当コンテスト

愛情お弁当コンテスト

優秀作品を商品化しました！

「家族、恋人、友人…。大切な人の笑顔のために」というテーマのもと行った愛情弁当コンテストでは、第1回133作品、第2回178作品のご応募をいただきました。最優秀賞と優秀賞を商品化するという新しい試みは関心を持っていただききっかけともなり、第1回4,004件だったHPアクセス数も第2回8,812件と倍増。2008年度は、さらに盛り上げていくために、一般の方に審査に参加していただく事を予定しています。

ブログ等でも紹介され大好評

メタボのお父さんのための健康弁当、子供の苦手な食べ物を食べやすくした弁当、ダイエット中の友人への弁当など。審査委員が悩むほどハイレベルな作品が集まったのが今回のコンテストです。発表・表彰式に参加されたお客様のブログにも「選ばれてすごく嬉しい!」「弁当工場の見学もできて面白かった」と楽しい様子が紹介されています。



食に関する新鮮な提案がいつもあるイズミヤに

食品SV部 瀬戸和雄

愛情弁当コンテストはイズミヤの食育啓発活動の柱にしたいと考えています。大切な誰かのために「愛情」を込めて作る—そこには食材、おいしさ、栄養面、美しさといった、食育に求められるすべてが詰め合わされているわけですから。実際に商品となることで注目も集まりましたが、このようなイベントだけでなく、食育強化週間を毎月設けて、食生活の改善を継続的に呼びかけています。お客様に役立つ提案ができる売場づくりに力を入れていきたいです。

約300作品の中から選ばれ、店頭に並んだお弁当

第1回 最優秀賞

おぼんざいのかくれんぼ
2007年9月17日
から販売



第2回 最優秀賞

彩華弁当
2008年4月14日
から販売



地球温暖化防止・啓発キャンペーン

家でできる温暖化対策を実践しよう

うちエコ! 川柳募集

2007年6月のエコ月間に、「夏のうちエコ!」を提案する商品を販売するとともに、独自企画として「うちエコ!」をテーマにした川柳を募集しました。2,456通の応募がありその中には絶妙な川柳も。「抽選で夏の涼味が当たる」ということもあり、楽しみながらエコを意識していただく企画となりました。

※「うちエコ!」とは、衣食住を通じて「家」の中で実践できる地球温暖化対策の愛称。「クールビズ」同様、環境省が推奨している活動です。



1人、1日、1kg CO₂を削減しよう

省エネライフ 応援キャンペーン

環境省が呼びかける「1人、1日、1kgCO₂削減」応援キャンペーンに協賛。温暖化防止のメニューから実践しようと思う項目を選んでいただき、その「チャレンジ宣言シート」を提示されたお客様に、省エネ商品を割引販売しました。またイズミヤグループ全従業員へも宣言を促し、CO₂削減に取り組ましました。



社員のチャレンジ宣言シートを店頭で紹介

企業とコラボした食育啓発活動

イズミヤでは他にも、企業とタイアップした多彩なイベントを実施しています。子供たちに食への関心を持ってもらいその大切さを伝える—健康で健全な次世代の育成につながる取り組みには特に力を注いでいます。

春休み子供料理教室

カゴメ(株)、キュービー(株)、ハウス食品(株)協賛



「集まれ!野菜大好き元気っ子」をテーマに開催。作る楽しさを体験していただきました。

めざましごはんキャンペーン

(社)米穀安定供給確保支援機構・他食品メーカー協賛



朝ごはんの喫食率向上を図る取り組みとして、メニューを提案し食材を特価販売しました。

食育バスツアー

株式会社ミツカン協賛



店舗のバックヤードとミツカン工場を親子で見学。酢の効用なども楽しく学びました。